学校番号	328

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　精選　古典探究」（第一学習社）						
副教材等	「新訂　国語図説　六訂版」（株式会社　啓隆社） 「新精選古典文法　三訂版」（東京書籍出版） 「テーマ別　古典ベストクリア 1」（尚文出版） 「わかる・読める・解ける　古文単語 330　四訂版」（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な時代や歴史的背景を持つ古典作品に触れ、古文や漢文の世界に親しみましょう。
・古典を読むために必要な語彙力や文法の知識を身につけ、古典特有の表現も理解しましょう。
・文学史的事項で作者について知り、時代背景を確認して古典作品への理解をより深めましょう。
・予習と復習を欠かさないでください。本文を読み、分からない単語を調べることは予習の基本です。復習は授業を思い起こして本文を読み直し、他者に教えるつもりで説明できるようになりましょう。
・提出物は期限厳守。定期考査は学習計画を立てて勉強してください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方・感じ方・考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

点観	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとととともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。また、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ［教材］ 「小式部内侍が大江山の歌の事」『古今著聞集』	a：古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 b[読]：著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 c：積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ノート リフレクションシート
	著名な歌人である母和泉式部と小式部内侍との親子関係を調査する。 ［教材］ 「言語活動　小式部内侍と和泉式部」	a：読書の意義と効用について理解を深める。 b[読]：古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 c：学習の見通しをもって、小式部内侍と和泉式部に関する資料を、図書館の資料などを用いて、進んで調べようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査	ノート リフレクションシート
	わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、発展期の和歌を鑑賞する。 ［教材］ 『古今和歌集』	a：和歌の修辞などの表現の特色について理解を深める。 b[読]：わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、発展期の和歌を鑑賞する。 c：和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ノート リフレクションシート
	争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事象に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。 ［教材］ 「よろづのことは、月見るにこそ」『徒然草』	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：随筆に表れた作者の考えを積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ノート リフレクションシート
	鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 ［教材］ 「ゆく川の流れ」 『方丈記』	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：和漢混淆文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ノート リフレクションシート
	鴨長明『方丈記』の表現について分析し、無常観という観点で兼好法師『徒然草』と比較をする。 ［教材］ 「言語活動　無常観の表現」	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 b[読]：中世随筆という文章の種類をふまえて、古典特有の無常観に注意して内容を的確に捉える。 c：今までの学習を生かして、『方丈記』と『徒然草』を読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	リフレクションシート 発表活動
	展開や表現に即して袴垂の心理を追い、そこから浮かび上がる保昌の人物像を理解する。 ［教材］ 「袴垂、保昌に合ふ事」 『宇治拾遺物語』	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：本文の叙述や表現に即して粘り強く説話を読み、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ノート リフレクションシート

2学期	物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ［教材］ 「初冠」 『伊勢物語』	a：歌物語の特徴について理解を深める。 b[読]：歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ノート リフレクションシート
	平安時代の年中行事や、地域の伝統行事の由来や歴史について調査する。 ［教材］ 「言語活動　貴族の生活と年中行事」	a：我が国の文化の特質について理解を深める。 b[読]：古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 c：学習の見通しをもって、平安時代の年中行事や地域の伝統的な行事を、図書館の資料などを用いて、進んで調べようとしている。	ワークシート ノート	ワークシート 定期考査 ノート	リフレクションシート
	友情に関する故事成語の由来や意味を調べ、その成果をまとめたり発表したりする。 ［教材］ 「言語活動　友情に関する故事」	a：漢文が日本語に与えた影響について考えることにより、我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 b[読]：作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う c：故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめたり発表したりしようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査	ノート リフレクションシート 発表活動
	漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ［教材］ 「江村（杜甫）」	a：漢詩の特徴と漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。 b[読]：漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	リフレクションシート
	内容・形態によって三つに大別される章段のそれぞれを読んで、文章に表れたものの見方や考え方を理解する。 ［教材］ 「すさまじきもの」 「木の花は」 『枕草子』	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 b[読]：自由な文体の随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：漢詩文と関わりのある章段を読み、我が国の文化と中国の文化との関係について、積極的に理解を深めようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	リフレクションシート
	形容詞について、現代語と古語との意味の異なりについて調査する。 ［教材］ 「言語活動　現代語との比較」	a：時間の経過による言葉の変化について理解を深める。 b[読]：「かなしい（かなし）」などの形容詞について、現代語と古語との意味の異なりについて調査し、その成果をまとめたり発表したりする。 c：時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって、積極的に調べたり説明したりしようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ノート リフレクションシート
	『枕草子』内で漢詩や逸話がどのような受容をされているか調査する。 ［教材］ 「言語活動　清少納言と漢文」	a：我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 b[読]：当時の貴族たちには漢文の知識が半ば常識であったことをふまえて、『枕草子』内で漢詩や逸話がどのような受容をされているか調査し、その成果をまとめたり報告したりする。 c：漢詩文と関わりのある『枕草子』を読み比べ、作品の中で漢詩文が果たす役割についてわかったことを積極的に報告し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ノート リフレクションシート

3学期	歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ［教材］ 「光る君誕生」『源氏物語』	a：主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 b[読]：長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ノート リフレクションシート
	歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。 ［教材］ 「弓争ひ」 「道長の豪胆」 『大鏡』	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。 c：今までの学習を生かして歴史物語を読み、作者の意図をふまえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ノート リフレクションシート
	晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ［教材］ 「門出」 『更級日記』	a：文語のきまりについて理解を深める。 b[読]：晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 c：学習の見通しをもって『更級日記』を読み、晩年に書かれた自伝的日記であることに注意しながら、構成や展開を捉えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ノート リフレクションシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

~~・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間~~

~~・書くこと　…　（　　）時間~~

・読むこと　…　（　７５　）時間